2026 年度

単位互換履修生募集要項

聖マリア学院大学

目　　次

1. 久留米市内大学等単位互換協定について　・・・1
2. 本学が開講する授業科目について　・・・1
3. 授業料等について　・・・1
4. 出願手続き等について　・・・1
5. 開講科目一覧　・・・5
6. シラバス　・・・6～10
7. 本学への交通機関・キャンパス案内図　・・・11･12

久留米市内大学等単位互換協定について

2004（平成 16）年 7 月から始まりました「久留米市内大学等単位互換」は、この地域の大学・短期大学・工業高等専門学校（以下「協定校」と呼びます）が相互の協力交流を通じさらなる教育課程の充実を図り、学生の幅広い視野の育成と学習意欲の向上をめざし、さらには、久留米市の発展に寄与することを目的に久留米市との連携により単位互換協定を締結し、これらの協定校に所属する学生が、他の協定校の授業科目を履修し、そこで取得した単位をその学生が所属する協定校の単位として認定しようとするものです。

現在単位互換協定を締結しているのは、久留米大学、久留米工業大学、久留米信愛女学院短期大学、聖マリア学院大学および久留米工業高等専門学校の 5 校です。

参加大学からは、それぞれの学校の特色ある授業科目や、他の学校にはないユニークな授業科目が提供され、学生諸君の関心や興味に応じた授業を行っていきます。「自分の学校では学べない分野や内容について学んでみたい」「他の学校の授業を受けることで広い考え方や見方を身につけたい」「ほかの学校の雰囲気に触れてみたい」など興味を持っている方はぜひチャレンジしてみてください。

本学が開講する授業科目について

今年度は、5 ページに挙げる科目について開講することになりました。各科目の詳細並びに授業のスケジュールは、6 ページ以降のシラバスをご覧ください。

授業料等について

授業料および履修の際の手続き費用は不要です。

ただし、実験・実習・実技等でかかる教材費等については実費を徴収する場合があります。

出願手続き等について

1. 申込者の資格

単位互換協定に参加する協定校の学生で、所属する学校が許可をすれば、どなたでも受講の資格があります。

2. 科目履修の出願

科目履修を希望する学生は、単位互換履修生・科目履修届を**所属校の提出期限までに**提出してください。

3. 科目履修の許可

聖マリア学院大学では、所属校からの依頼を受け、科目履修届やその他の提出書類などにより選考を行い、その結果を所属校に連絡します。

科目履修の許可は、その結果を持って所属校から出願者に通知されます。

4. 単位互換履修生証の交付

単位互換履修生証（学生証）は、本学で発行し、受講開始までに本学教務課にて手続きをおこなってください。

キャンパスの入校、授業科目の受講、試験の受験、施設の利用等で必要ですので、必ず携帯してください。

5. 授業科目の履修方法、単位の取得方法

授業科目の履修方法と単位の取得方法は、本学の学則その他諸規定が定めているところ、および授業科目担当者の指示に拠ります。不明な点は教務課にお尋ねください。

6. 単位互換履修生連絡・掲示

参加大学には単位互換履修生への連絡掲示が貼付されます。単位互換に関する様々な情報（休講や授業変更、試験なども含みます）は大学間で相互に交換されますので、本学又は所属校の掲示板をご覧ください。

7. 単位互換履修生事務取扱窓口

本学の単位互換履修生に関する事務取扱窓口は、教務課で行います。

なお、窓口業務の時間は以下のとおりです。

【窓口利用時間】
月～金　8：30～17：00
【本学休業日】
土・日・祝祭日・開学記念日（12月8日）・12月29日～1月3日

8. 授業について

1）学期について

学期は、前期と後期の2学期に分かれています。

前期：　4月1日 ～ 9月30日

後期：10月1日 ～ 3月31日

各科目の授業日は、5ページ開講科目一覧表並びにシラバスで確認してください。

2）授業時間について

授業は 90 分授業です。時間帯については以下のとおりです。

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
9：00 ～ 10：30	10：40 ～ 12：10	13：10 ～ 14：40	14：50 ～ 16：20	16：30 ～ 18：00

3）授業の休講について

授業が休講になる場合は、個別に連絡します。

9. 試験について

前期および後期に各々定期試験があります。

1）試験時間について

試験時間については原則 1 時限 90 分とし、試験時間帯は以下のとおりです。

※試験日時等詳細については、別途お知らせします。

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
9：00 ～ 10：30	10：50 ～ 12：20	13：30 ～ 15：00	15：20 ～ 16：50

2）受験細則について

試験場においては、次の注意事項を守らなければなりません。

(1) 試験開始時刻に遅れた場合は、試験場の前で静かに待機すること。ただし、試験開始後 15 分経過の時点のみ入場を許可されるが、監督の指示に従い静かに着席すること。

(2) 開始後、30 分経過しなければ退場を許可しない。

(3) 答案用紙は、場外に持ち出すことを許可しない

(4) 学生証は、机の右上端に呈示する。

(5) 学生証を忘れた学生に対しては、試験開始前に教務課窓口にて仮学生証の発行を受け呈示する。

(6) 受験の際は座席を指定する。座席表は定期試験当日に各教室前に掲示する。

3）受験に関する不正行為に対する罰則について

単位互換履修生が受験に際して不正行為を行った場合、当該学期の定期試験の全科目を無効とし、履修許可を取消します。

4）定期試験について

(1) 科目単位を取得するには試験に合格しなければなりません。試験の合否は科目担当教員が認定します。試験は筆記、論文または履修の平常状況によります。

(2)　試験は、履修した科目でなければ受けることができません。

(3)　試験の成績は、90 点以上は「AA」、80 点以上 90 点未満は「A」、70 点以上 80 点未満は「B」、60 点以上 70 点未満は「C」の評価をもって表示し合格とします。60 点未満は「F」と表示し、不合格とします。

10.　その他注意事項

聖マリア学院大学では構内・周辺での喫煙を禁止しております。

2026年度　高等教育コンソーシアム久留米　単位互換提供科目

	学科名	科目名	単位数	科目責任者	開講期	講義回数	講義日程	備　考
聖マリア学院大学	看護学部 看護学科	公衆衛生学	1	福山　由美	1年後期	8	Syllabus 参照	
		疫学Ⅰ	1	井手　悠一郎	1年後期	8		
		英語Ⅰ	2	Eric Fortin	1年後期	15		
		フランス語	1	Eric Fortin	1年後期	8		
		リハビリテーション看護学	1	日高　艶子	2年後期	8		

開設科目名	公衆衛生学	科目コード	BSNLH122	開設期	1年後期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義、演習
責任者	福山 由美	担当者	福山 由美		

授業の概要（授業の目的）

公衆衛生とは、病める個人も含めた社会で生活するすべての人々を対象とした、社会的な制度であり、学問であり、実践である。公衆衛生の基本内容等について理解する。予防医学に関心を持ち、将来、専門職として活動するための基礎的な知識・態度を体得する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
公衆衛生に関わる知識を理解し、修得している。 自ら学習する態度を身につける。	医療の基礎/ロイ適応看護モデル

授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）

回	授業内容・講義日時	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	公衆衛生とは、健康の指標 10月7日（水）16:30～18:00	講義(面接)	福山	第1、3章を読んでおく、授業内容の復習	2時間
2	生活習慣病、健康教育とヘルスプロモーション 10月21日（水）16:30～18:00	講義(面接)	福山	第11、13章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
3	医療・介護の保障制度 11月4日（水）16:30～18:00	講義(面接)	福山	第7章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
4	精神保健福祉、難病対策 11月11日（水）16:30～18:00	講義(面接)	福山	第14、12章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
5	感染症とその予防 12月2日（水）16:30～18:00	講義(面接)	福山	第4章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
6	母子保健、学校保健 12月9日（水）16:30～18:00	講義(面接)	福山	第9、10章を読んでおく、授業内容の復習	4時間
7	食品保健と栄養、生活環境の保全、 地域保健活動 12月16日（水）16:30～18:00	講義(面接)	福山	第5、6、8章を読んでおく、授業内容の復習、	4時間
8	産業保健、疫学 （一部反転授業を実施） ⇒実際のデータを用いた計算演習 12月23日（水）16:30～18:00	講義、演習 (面接)	福山	第15、2章を読んでおく、動画「年齢調整死亡率の計算」を視聴しておく、授業内容の復習	4時間

成績評価方法・基準	① 各回の小レポートの提出 50% ②（面接）定期試験 50% 科目責任者が評価を行います。
課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ	試験後、各自の評価結果は WebClass に掲載します。
教科書	ヌーヴェルヒロカワ『わかりやすい公衆衛生学』
参考書・参考文献	厚生労働統計協会『国民衛生の動向』
ｵﾌｨｽｱﾜｰ 学習相談 ﾒｯｾｰｼﾞ その他	連絡先 福山 由美、オフィスアワー：火曜 12：10～13：00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。 メール等での質問も可です。（アドレスについては Microsoft 365 を参照してください）

開設科目名	疫学Ⅰ	科目コード	BSNLH127	開設期	1年後期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	井手 悠一郎	担当者	井手 悠一郎		

授業の概要（授業の目的）

公衆衛生活動の基本的方法論である疫学とはどのような学問であり、疫学的な因果推論とはどのような概念であるかを理解する。研究デザインや健康指標を理解するだけではなく、将来専門職として活動する際のデータの収集のための調査方法や、調査の際のインフォームド・コンセント、個人情報保護などの倫理的配慮も理解する。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
疫学的思考について理解する。	医療の基礎/ロイ適応看護モデル

授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）

回	授業内容・講義日時	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	疫学とは、疫学が明らかにしてきたこと 10月19日（月）14:50～16:20	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
2	有病率、累積罹患率、罹患率 10月26日（月）14:50～16:20	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
3	年齢調整死亡率、曝露と結果指標、研究仮説、相対危険 11月2日（月）14:50～16:20	演習、講義(面接)	井手	動画「年齢調整死亡率の計算」を視聴しておく、授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
4	母集団と標本、横断研究、コホート研究 11月9日（月）14:50～16:20	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
5	症例対照研究、介入研究 11月16日（月）14:50～16:20	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
6	バイアスとその制御 11月30日（月）14:50～16:20	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
7	交絡とその制御 12月7日（月）14:50～16:20	講義(面接)	井手	授業内容の復習、次回講義資料の予習	4時間
8	背理法、関連と因果関係、研究倫理 12月14日（月）14:50～16:20	講義(面接)	井手	授業内容の復習	2時間

成績評価方法・基準	①各回の小レポートの提出（1～8回の授業内容について毎回まとめ、WebClassへ提出してください） ②定期試験 50%（筆記試験またはWebClass上で実施します） 科目責任者が評価を行います。
課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ	試験後、定期験の各自の評価結果をWebClassに掲載します。
教科書	特に指定しない
参考書・参考文献	医学書院『基礎から学ぶ 楽しい疫学』（第4版） 南江堂『はじめて学ぶ やさしい疫学』（第4版） 参考文献（Immunogenicity of a monovalent influenza A(H1N1)pdm09 vaccine in patients with hematological malignancies）
ｵﾌｨｽｱﾜｰ 学習相談 ﾒｯｾｰｼﾞ その他	本科目は、society5.0に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。 society5.0に向け、全ての大学生が身に着けるべきデータ活用のための知識と技術を中心に展開します。 疫学Ⅰ、データリテラシー基礎（1年次）、データリテラシー演習（2年次）、データ分析応用基礎（3年次）、疫学Ⅱ・保健統計学（4年次）と、段階的にデータ思考を学ぶプログラムの基礎となる科目です。次年度以降、当該選択科目は積極的に履修してください。 連絡先 井手悠一郎（6号館2階 井手悠一郎研究室）、オフィスアワー：火曜16：00～17：00 ※上記時間帯以外に訪問したい場合は事前予約をしてください。 メール等での質問も可です。（アドレスについてはMicrosoft 365を参照してください） ICTの活用：各回の小テストは、WebClass上で実施します。 その他：第7回については「Immunogenicity of a monovalent influenza A(H1N1)pdm09 vaccine in patients with hematological malignancies」に関する研究成果を一部参照して、講義を展開します。

開設科目名	English I（英語 I）	科目コード	BSNGC105	開設期	1年後期
単位数（履修区分）	2単位（必修）	時間数	30時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN, Eric	担当者	FORTIN, Eric		

授業の概要（授業の目的）

The purpose of this course is to introduce students to the most necessary English medical words and phrases that nurse might need in the hospital setting, either in communicating with foreign patients or hospital staff. Students will also review the basic English that they have studied in junior and senior high school and see how it can be expanded to hospital-related situations that nurses need to be able to use. Students will also be introduced to some Asian countries where institutions that have sister college relationships with St. Mary's College are located.

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1) Students will learn nursing and medical English needed in the hospital setting.	持続可能な個人・集団・国の健康
2) Students will develop their basic vocabulary	
3) Students will develop writing skills through journal writing.	
4) Students will develop English speaking skills through short presentations	
5) Students will learn a little about other countries and cultures.	

授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）

回	授業内容・講義日時	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	Introduction to the Course 10月5日（月）10:40～12:10	講義(面接)	FORTIN	Unit 1 Preparation	4時間
2	Unit 1. Hospital Departments 10月9日（金）14:50～16:20	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Contents	4時間
3	Unit 2. Application Forms 10月19日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Journal writing assignment 1 Preparation	4時間
4	Unit 3. Parts of the Body 10月23日（金）14:50～16:20	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Contents	4時間
5	Country Study: Korea 10月26日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Contents	4時間
6	Unit 4. Illnesses 11月2日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Review	4時間
7	Unit 5. Daily Routine 11月9日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Contents	4時間
8	Unit 6. Hospital Objects 11月16日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Review Units 1-6	4時間
9	Midterm Examination Country Profile: Thailand 11月30日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Journal Writing Assignment 2 Preparation	4時間
10	Special Material: Accidents and Injuries 12月7日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Contents	4時間
11	Unit 7. Locations of Hospital Objects 12月11日（金）14:50～16:20	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Contents	4時間
12	Unit8.Hospital Directions and Instructions 12月14日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Contents	4時間
13	Unit 10. Chatting with a Patient 12月21日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Journal writing assignment 3 Preparation	4時間
14	Unit 11. Taking a Medical History 1月18日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Review Conversations, Contents	4時間
15	Unit 12. Hospital Procedures 1月25日（月）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	Review Units 7-12	4時間

成績評価方法・基準	Final exam: 50%; Small test: 20; Assignments: 20%; Group conversations: 10% （責任者の評価）
課題に対するフィードバック	・毎回の復習の模擬試験の解答チェックを行う ・レポートの書き直しの提示
教科書	Vivian Morooka & Terri Sugiura, 『VITAL SIGNS Revised Edition』, Nan'un-do, Tokyo, 2018
参考書・参考文献	特になし
オフィスアワー/学習相談メッセージ/その他	Eric Fortin（6号館 2F L621 研究室）、オフィスアワー:水曜日 16:30～17:30

開設科目名	French (フランス語)	科目コード	BSNGC106	開設期	1年後期
単位数（履修区分）	1単位（選択）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	FORTIN、Eric	担当者	FORTIN、Eric		

授業の概要（授業の目的）

This course will introduce students to the basic vocabulary, expressions, and essential grammar of the French language while exposing them to various aspects of French culture and daily life.

（基本的な日常フランス語を習いながら、フランスの文化も学ぶ。）

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1） Students will learn the French pronunciation system and basic vocabulary.	持続可能な個人・集団・国の健康
2） Students will learn the most important and useful French grammar.	
3） Students will learn about French culture and life.	
4） Students will have ample opportunity to practice role-playing situations.	

授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）

回	授業内容・講義日時	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	挨拶: 自己紹介、国籍、仕事; 教室のもの 10月21日（水）14:50～16:20	講義(面接)	FORTIN	フランスの文化など	2時間
2	買い物: 教室のもの、数字、色 10月28日（水）16:30～18:00	講義(面接)	FORTIN	挨拶や自己紹介の復習	4時間
3	宿泊: 家、家族、ホテルの予約 11月4日（水）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	数字や教室のものの復習	4時間
4	食べ物: レストランの注文、時間、食事 11月18日（水）16:30～18:00	講義(面接)	FORTIN	家族などの復習	4時間
5	乗り物: 曜日、町の場所 11月25日（水）16:30～18:00	講義(面接)	FORTIN	時間や食事のものの復習	4時間
6	観光: フランスの名所、自然 12月2日（水）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	復曜や町の場所の日習	4時間
7	問題: 体、医者と患者、事故 12月16日（水）13:10～14:40	講義(面接)	FORTIN	自然のものの復習	4時間
8	復習 12月23日（水）14:50～16:20	講義(面接)	FORTIN	体や医療の単語の復習	4時間

成績評価方法・基準	Final written exam: 40%; Final oral exam: 40%; Role play participation: 20% （責任者の評価）
課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ	毎回の復讐と正しい発音・フランス語会話の使い方の指導
教科書	特になし（教員からのプリント）
参考書・参考文献	特になし
ｵﾌｨｽｱﾜｰ 学習相談 ﾒｯｾｰｼﾞ その他	Eric Fortin（6号館2F L621研究室）、オフィスアワー:水曜日 16:30～17:30

開設科目名	リハビリテーション看護学	科目コード	BSNBA214	開設期	2年後期
単位数（履修区分）	1単位（必修）	時間数	15時間	授業区分	講義
責任者	日高艶子	担当者	日高艶子、小浜さつき、佐藤友紀、飛永浩一朗		

授業の概要（授業の目的）

リハビリテーションとは、障がいのある人が"地域で地域の人々の支援を受けながら誇りを持って生活できること"を目指す活動といえる。リハビリテーション看護の目標は、多職種と協働し障がいのある人のセルフケアの再構築を促進することである。本講義では、主に，脳卒中の後遺症である運動機能障害、高次脳機能障害、嚥下障害、排泄障害を呈した患者に対する、専門的な評価や介入について学ぶ。また、障がいのある人の環境への適応を促す看護について学ぶ。

学修の到達目標	ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連
1．リハビリテーションの意味，リハビリテーション看護の目標と看護師の役割を説明できる。	医療の基礎/ロイ適応看護モデル
2．運動機能障害の評価と介入方法を説明できる。	
3．高次脳機能障害の評価と介入方法を説明できる。	
4．嚥下機能障害の評価と介入方法を説明できる。	
5．障がいのある人の環境への適応を促す看護について述べることができる。	

授業計画（授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等）

回	授業内容・講義日時	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	リハビリテーションの概念―定義と目的 定義に影響を与えたノーマライゼーションの思想とIL運動 10月22日（木）9:00～10:30	講義(面接)	日高	講義前に配布した資料を予習し講義に臨み、講義後は復習に取り組む。	4時間
2	リハビリテーション看護の視点―リハビリテーション看護の目標と看護師の役割 10月29日（木）9:00～10:30	講義(面接)	日高	講義前に配布した資料を予習し講義に臨み、講義後は復習に取り組む。	4時間
3	運動機能障害のアセスメントと介入① 11月5日（木）9:00～10:30	講義(面接)	飛永	・運動機能障害のアセスメントと介入について、理学療法士による講義を行います。	4時間
4	運動機能障害のアセスメントと介入② 嚥下機能障害のアセスメントと介入① 11月12日（木）9:00～10:30	講義(面接)	小浜	・嚥下関連筋を支配する神経を復習し講義に臨むこと。講義内容を復習すること。	4時間
5	高次脳機能障害のアセスメントと介入① 11月26日（木）9:00～10:30	講義(面接)	日高	教科書①5章2節を事前に読んで予習すること。講義内容を復習すること。	4時間
6	高次脳機能障害のアセスメントと介入② 12月3日（木）9:00～10:30	講義(面接)	日高	教科書①5章2節を事前に読んで予習すること。講義内容を復習すること。	4時間
7	排泄機能障害―ポケットエコーを用いたアセスメントと介入 12月17日（木）9:00～10:30	講義(面接)	佐藤(CNS)	専門看護師によるポケットエコーを用いたアセスメントについて学修します。講義中に配布した資料を復習すること。	4時間
8	ロイ適応看護モデルに基づくリハビリテーション看護 ・変化した環境への適応とコーピング ・ケアリング行為と適応 12月24日（木）9:00～10:30	講義(面接)	日高	ロイ適応看護モデルについて復習して講義に臨むこと。講義中に配布した資料を復習すること。	4時間

成績評価方法・基準	筆記試験100%（評価者：科目責任者）
課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ	講義内で提出されたレポートやリアクションペーパーは、後日返却します。
教科書	①　鈴木純恵他編集 健康危機状況/セルフケアの再獲得、ナーシング・グラフィカ、メディカ出版
参考書・参考文献	・奥宮暁子監訳：リハビリテーション看護の実践、日本看護協会出版会．　・八代英太編：ADAの衝撃、学苑社、1996. ・石合純夫：高次脳機能障害学、医歯薬出版株式会社、2004.　・上田敏：リハビリテーションを考える、青木出版、2000. ・ノーマリゼーション―社会福祉サービスの本質．ヴォルフェンスベルガー著．学苑社、1982. ・井林雪郎編集．脳卒中リハビリテーションとチーム医療・メディカルレビュー社。2012. ・金田嘉清・大塚圭編集：リハビリテーション．放送大学教育振興会．東京都．2019.
ｵﾌｨｽｱﾜｰ/学習相談 ﾒｯｾｰｼﾞ/その他	日高艶子（7号館3階、731研究室）　オフィスアワー：金曜日16：00－17：00 その他：この科目は看護職として実務経験を有する教員が看護について教授する科目です 本科目は、日高の「高次脳機能障害者のセルフケア再獲得を促す看護介入モデルの構築」の研究成果をもとに講義を行います。

本学への交通機関

1. 所在地

〒830-8558

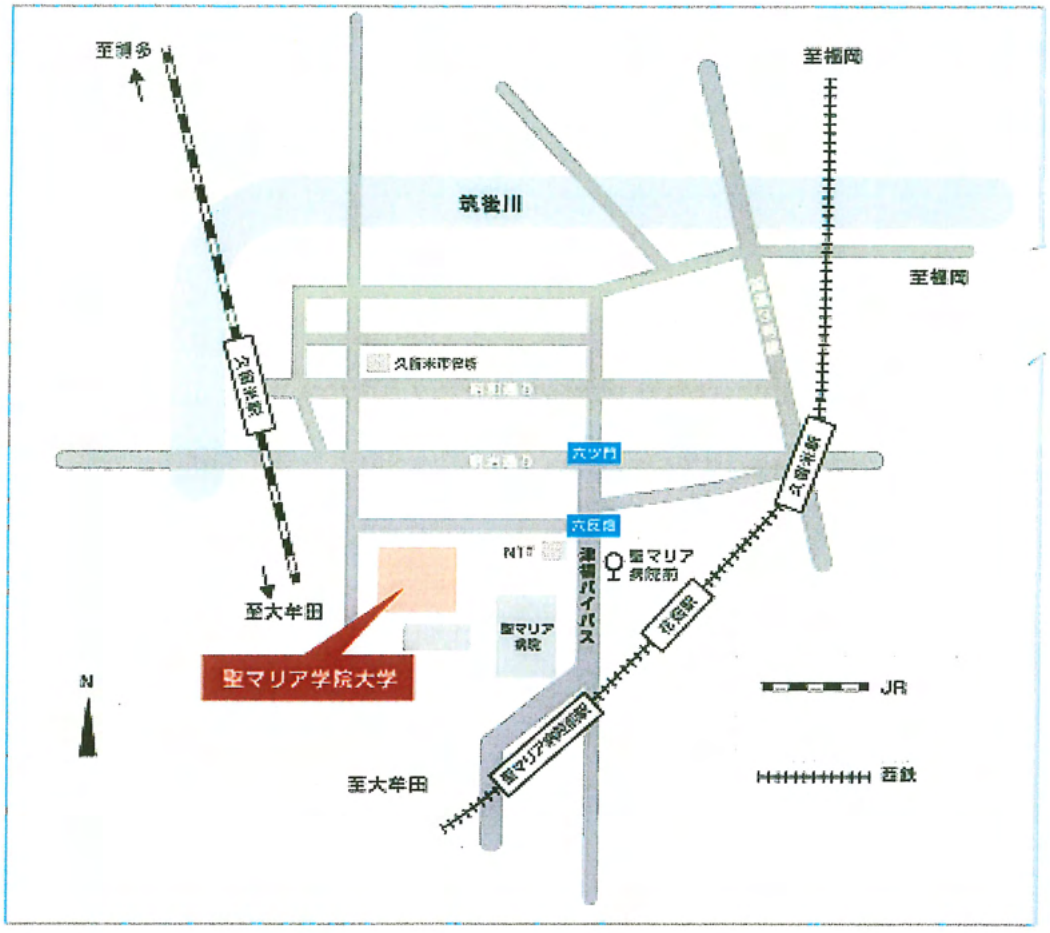
久留米市津福本町 422

TEL　0942－35－7271（代表）　0942-50-0221（教務課直通）

FAX　0942－34－9125

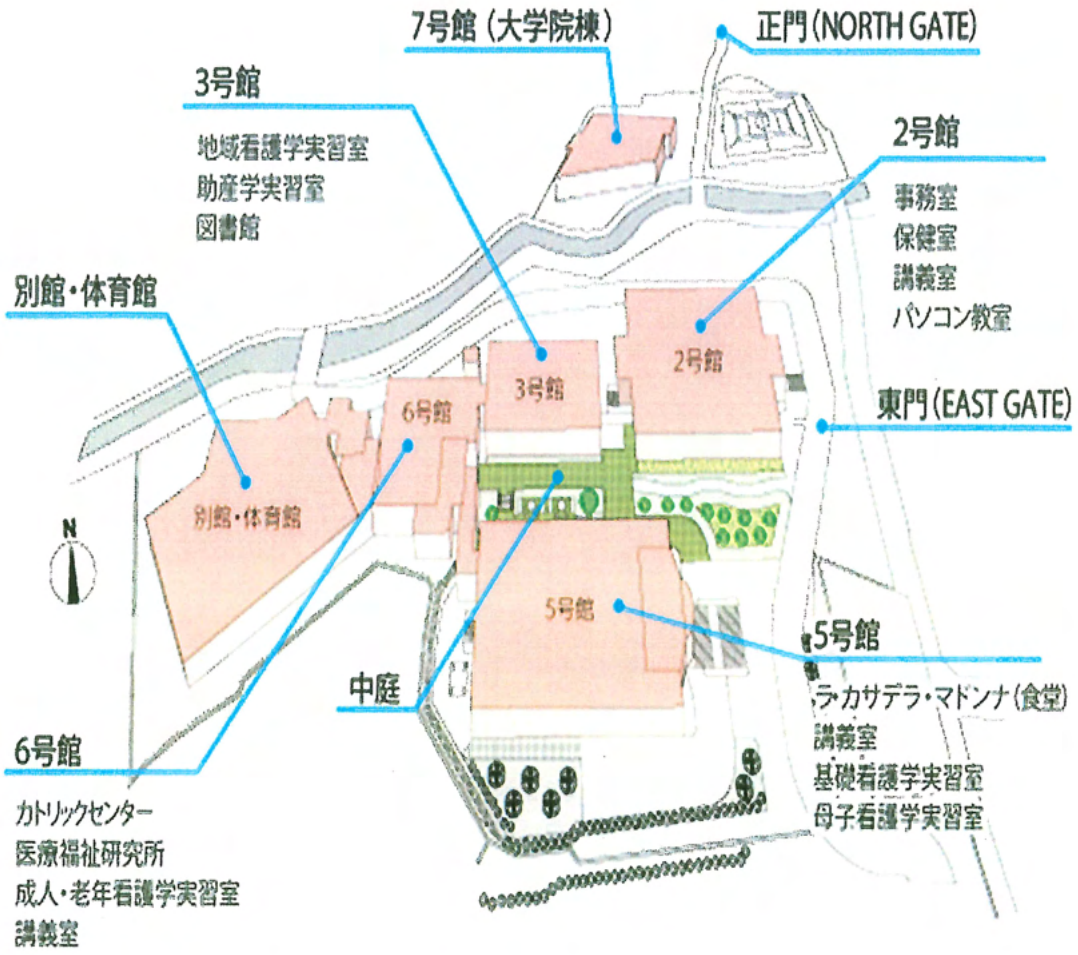
2. 交通機関

聖マリア学院大学では、学内への車の乗り入れを禁止しています。



- JR 久留米駅より　タクシー 10 分　　西鉄バス 50 番系統に乗車(15 分)聖マリア病院下車　徒歩 3 分
- 西鉄久留米駅より　タクシー 5 分　　西鉄バス 50 番系統に乗車(7 分)聖マリア病院下車　徒歩 3 分
- 西鉄聖マリア病院前駅より　徒歩 7 分
- 西鉄花畑駅より　徒歩 10 分

キャンパス案内図


7号館（大学院棟）
正門(NORTH GATE)
3号館
地域看護学実習室
助産学実習室
図書館
2号館
事務室
保健室
講義室
パソコン教室
別館・体育館
東門(EAST GATE)
N
別館・体育館
6号館
3号館
2号館
5号館
中庭
5号館
ラ・カサデラ・マドンナ(食堂)
講義室
基礎看護学実習室
母子看護学実習室
6号館
カトリックセンター
医療福祉研究所
成人・老年看護学実習室
講義室

〒830-8558
久留米市津福本町 422
聖マリア学院大学
TEL 0942-35-7271（代表）、0942-50-0221(教務課直通)
FAX 0942-34-9125　　E-Mail：kyoumu@st-mary.ac.jp
http://www.st-mary.ac.jp/